



注目を集めたビブリオバトル。書籍の魅力を伝えます



ビジュアルアート部が制作したビッグアートは、モザイク画で学校を表現



サイエンス部は「迷探偵コナン」の寸劇で化学発光を実演



ダンス部はKポップダンスの完全コピーに挑戦。男子はキレッキレ！女子はキュートなダンスで会場を圧倒



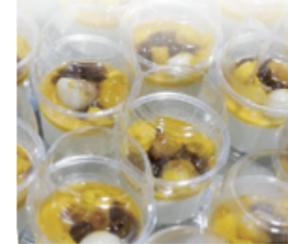
特設部のステージ

中学校の特設部の発表も多彩でした。好きなことに仲間と打ち込む楽しさが、見る側にも伝わります。それぞれに見応えがあり、日頃の表現活動の充実もうかがえました。小学生も夢中でステージを楽しんでいました。

楽しもうねー！



ラオス料理と郷土料理を組み合わせた創作料理。会場でふるまい意見を収集



発表会の中盤、「知る・伝える・来てもらう」を合言葉に飯館中学校が進めるオリパラ・ホストタウンプロジェクトの最新情報を紹介する「IOC総会」が開かれました。会場は、発表会のステージ上です。高橋秋帆IOC会長（中学3年）を中心に、各委員会の代表が席を並べ、取り組みの進捗状況を報告。相互に意見を交わしました。

委員会ごとに進めるプロジェクトは、村を伝える動画の制作、オリジナルデザインのTシャツやパンフレットの制作、色鉛筆やラオス語訳付絵本をラオスに贈る取り組み、さらには創作料理のレシピ考案などもアイデア豊かで、村民の協力やプロの指導を積極的に取り入れて実現を目指しており、次年度に引き継いで進めていくということです。



いいたてっ子発表会「赤蜻祭」 IOC総会

IOCいいたてオリンピック委員会

職員発表「Dragon Nightに再会を」。小学校の吉川校長がバイオリンを奏で、中学校の和田校長がセンターで踊り、最後は全職員が一つになってダンス！



給食センターの協力による豚汁のふるまい。保護者・生徒も活躍

発表会のひと月前には…



発表会に向けさまざまなレシピで創作料理を試作



各委員会の活動の様子を記録するメディア班



ラオス伝統の「勝利の門」はパーツの切り出しから



内閣官房 参事官
東京オリンピック・パラリンピック推進本部

勝野美江 さん

久しぶりに飯館中学校を訪れて今日の発表を拝見し、この数か月の素晴らしい成長を感じることができました。他にこのような取り組みを行っている中学校はありません。日本一のホストタウン活動だと思います。

唯一無二の一体感

昼食後は、職員発表からスタート。こども園・小学校・中学校の職員がバンド演奏とダンスで二つになり、圧巻のパフォーマンスを、子ども達も息をのんで見つめました。

発表会は全体を通して胸が熱くなるシーンの連続。子ども達も教職員も、PTA役員も観客も、感謝を伝え合い、感動を共有しました。

閉祭セレモニーの講評で、佐々木教頭を強く抱きしめた烏中教頭。「飯館村の子ども達だからできた活動です。教職員も職種による文化の違いや考え方の違いを一つひとつ解決しました。これからもまだまだ取り組んでいきます」。佐々木教頭は、発表会を大成功に導いた生徒をねぎらい「飯館中学校を誇りに思う」と声を張り上げました。「仲間との協力で成し遂げた喜びや感動が、きつとあったでしょう。皆さんには限らない力があるのです」。



講評の場面で大成功の感激を分かち合う草野小の烏中教頭（奥）と飯館中の佐々木教頭

ラオス選手団を歓迎する「勝利の門」も披露しました